

授業科目名：人権演習	教員の免許状取得のための の 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名：渡辺雅之 担当形態:単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目 (中学校社会及び高等学校公民)		
各科目に含めることが 必要な事項	教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目		
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>教育実践の基盤となる人権について歴史的背景と概念を学び、現代社会における人権の課題について理解する。ダイバーシティ-多文化共生社会に向けて教育的課題を把握し、実現のための手法「対話のあり方」等、演習を通して実践的に学ぶ。</p>			
<p>授業の概要</p> <p>人権の歴史と基本理念、現代的課題を学び、ダイバーシティ-多文化共生社会に向けて教育的課題の実践的イメージと手法をグループセッション、グループワークを通して演習的に学ぶ。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回：「人権」とは何か -歴史的背景とダイバーシティ</p> <p>第2回：「特別の教科 道徳」と人権教育</p> <p>第3回：現代社会における人権の課題(1)-レイシズムとヘイトスピーチ</p> <p>第4回：現代社会における人権の課題(2)-国際紛争と難民問題</p> <p>第5回：現代社会における人権の課題(3)セクシュアリティとジェンダー</p> <p>第6回：現代社会における人権の課題(4)-発達障害と定形発達</p>			

第7回：平和-共存へのアプローチ(1)-直接的暴力と構造的暴力
第8回：平和-共存へのアプローチ(2)-文化的暴力とリテラシー
第9回：平和-共存へのアプローチ(3)-いじめ問題
第10回：多文化共生教育へのアプローチ(1)-体罰問題
第11回：多文化共生教育へのアプローチ(2)-対話の関係性
第12回：多文化共生教育へのアプローチ(3)-実践記録の分析「テキスト教材」
第13回：多文化共生教育へのアプローチ(4)-実践記録の分析「動画教材」
第14回：多文化共生教育へのアプローチ(5)-新自由主義と自己責任論・成果主義を越える
第15回：まとめ、レポート「本講義で得た知見や学び」発表（これまでの授業の振り返り）
定期試験

※スクーリングではすべての内容を包括的に取り上げる

スクーリングでの学修内容

（主に、15回の内容を含む。）

テキスト

- (1) 渡辺雅之（2014）『いじめ・レイシズムを乗り越える『道徳』教育』高文研
- (2) 山下敏雅・渡辺雅之編著（2017）『どうなってるんだろう?子どもの法律 1』高文研
- (3) 山下敏雅・渡辺雅之編著（2019）『どうなってるんだろう?子どもの法律 2』高文研
- (4) 渡辺雅之（2018）『道徳教育のベクトルを変える-その理論と指導法』高文研

参考書・参考資料等

- (1) 香山リカ編著「ヒューマンライツ-人権をめぐる旅へ-」,ころから,2015年
- (2) 小林健治「差別語不快語」,にんげん出版,2016年
- (3) ダイアン・J・グッドマン,「真のダイバーシティをめざして-特権に無自覚なマジョリティのための社会的公正教育-」,上智大学出版,2017年
- (4) 楠凡之,「自閉症スペクトラム障害の子どもへの発達援助と学級づくり」,高文研,2012年
- (5) 泥憲和,「安倍首相から日本を取り戻せ-護憲派・泥の軍事政治戦略-」,かもがわ出版,2014年
- (6) エリック・ブライシュ,「ヘイトスピーチ」,明石書店,2014年
- (7) 梁 英聖,「レイシズムとは何か」,筑摩書房,2020年

学生に対する評価

レポート評価（25%）、スクーリング評価（25%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。